

## 平成19年度予算

### 総務財政所管

〔質疑〕白石市定住促進奨励金制度創設の経緯について伺いたい。

〔答弁〕昨年度からUIJターンの支援ということで、空き家・空き店舗対策及び田舎暮らし体験ツアーを実施しているが、これは、市内の若い職員が中心となって何とか人口減に歯止めをかけよう、白石に住んでもらおう、ということを様々な観点から検討を重ねた結果生まれたものである。

また、昨年、企業立地促進条例を制定して、企業立地の優遇策を設けて、働く場所の提供に一步踏み出したところであり、さらに、白石に住んでもらうための直接的でインパクトのある誘導策が必要ではないか、ということで予算化に至った。

〔質疑〕スパッシュランドの源泉の現況と今後の検討策について伺いたい。

〔答弁〕現在は、源泉水を加温して供給しており、重油の

高騰により経費がかさんでいる。温泉の安定的な供給策を検討するというところで、平成17年度に様々な検討をしたが、現在の源泉は、地下水が流入しており、それをくい止められないかということ、工事を試みたが復旧にはいたらなかった。

そこで、新たな源泉の掘削も検討したが、数千万円の費用がかかるものの、コンサルタントの地質調査の資料で、スパッシュランド敷地は、活断層が薄い等、必ず温泉が出るという保証はなく、引き湯についても模索しているが、関係経費が多額に上る。

なお、利用客については、



スパッシュランドしろいし

全体では前年を下回っているが、岩風呂については、前年あるいは一昨年よりも利用が上回っていることから、利用客の動向をみながら対応していきたい。

### 教育民生所管

〔質疑〕妊婦健康診査費助成事業の見込み件数と県内の実施状況について伺いたい。

〔答弁〕母子手帳の交付件数が年間約2百50件であることから、平成19年度は2百50人分を見込んだ。また、県内において、助成を6回行っている市が1市、4回行っている町が1町であり、10回行うのは白石市だけである。

〔質疑〕福祉の郷推進事業のひとつで薬師の湯利用助成事業の4百円の算出根拠と利用者2万人と想定した根拠について伺いたい。

〔答弁〕4百円は日帰り入浴の際の利用料相当額である。利用者は、現老人福祉センターの全入浴利用者数と70

歳以上の登録者数の比率を勘案し、2万人と想定した。

〔質疑〕現時点で南中学校改築校舎の設計内容はどのようなになっているのか伺いたい。

〔答弁〕平成18年1月から3月にかけて生徒、保護者、教職員及び地域住民とのワークショップを行い、生徒から「木目を生かし、木を主体とした校舎に」という意見が出されたこともあり、二階の普通教室を木造の設計にした。

### 産業経済所管

〔質疑〕市の中心市街地の商店街は、シャッターが閉まっているところが多く、歯が抜けたような状態の商店街で魅力がない。この空き店舗を固定資産税に少し上乗せしたくらしいの安い家賃で貸し出しはできないか。

〔答弁〕空き店舗については、商工会議所で把握しており、貸す意向があるかどうかの調査もしている。

その状況を踏まえて、企画情報課で白石市のホームページ

に空き店舗情報を掲載しているが、店舗と住宅との併用住宅となっているところも多く、貸すと表明している件数はあまり多くない状態である。

〔質疑〕農地・水・環境保全向上対策事業交付金について、これに該当する団体はどれくらいあるかまた、どれくらいの期間が対象となるのか伺いたい。

〔答弁〕白川小奥、大鷹沢笠松、大鷹沢六区、福岡上原、山根、八宮地区の6地区が該当する予定である。事業内容は農業が本来有する自然環境機能を維持する事と併せて地域の環境を守る事を目的に水路の江ざらい、草刈り、農道及び水路等の補修、花の植付けなどを行う。これは農家だけがやるのではなく、自治会、消防団、PTAなども入り、地域全体で自然環境を守る事が前提となる。宮城県全体で、事業面積として4万7千ヘクタールを目標としている。事業期間は五年間であり、他の地区がやりたいと手を挙げても五年間ではできないこと